

新社務所が竣工

当社社務所は以前から随神門の左手にあつて社務及び総代会等を行つて狭隘であり不便を感じていたところ、本年三月末廣山宮司退任に伴い新宮司家族を迎えることとなりこれを機会に、宮司職舎と社務所を分離し社務の充実を図ることとなつた。

社務所新築の経緯

平成九年九月総代会において社務所新築を決議し、直ちに責任役員からなる社務所建設委員会を設立し、委員長には栗坂総代長が選任された。その後建設委員会を再三開催し、総工費、請負業社、寄進方法等が協議され、本年二月十五日新社務所建設の第一歩を期す「地鎮祭」を建設委員、総代、施工業者参列の下に執行

つるさき

発行所
鶴崎神社
早島町早島2220
〒701-0304
TEL 482-0097



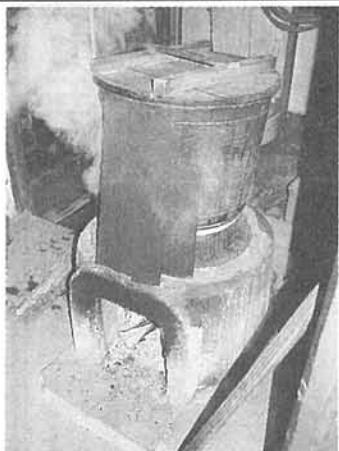
竣工になった新社務所

直ちに基礎工事にとりかかり、四月十九日には「上棟祭」を迎えた。今年の夏は天候に恵まれ、工事も予定通り進みまた、募財活動も幹事さんを始め皆様の深いご理解とご協力により予定通りに済んだ。翌日から

り八月末には殆ど終了することができ、九月二十日には見事立派な社務所が完成し、建設委員立ち会いの下、「引き渡し」が行われ九月二十七日に竣工祭を迎えることができた。竣工祭では新社務所の内外を隅々まで祓い清め社務の支障なき事を祈願し、間近に控えた秋祭りには使用出来る事となつた。

これも偏に幹事さんを始め氏子の皆様のご協力と誠意の賜物であり、今後は皆様方のご芳志に報いるべく、大切に使用させて戴く所存でございます。先ずは紙上にて建設委員を始め総代一同謹んで御礼を申し上げる次第でございます。誠に有り難うございました。

また、皆様方のご淨財によるものでありますので、今後はできるだけ氏子の皆様に解放し、ご祈願等の待合い及び休憩、諸会合、研修会等幅広く活用させていただきたく存じますので、ご遠慮なくお申し出下さい。尚、二万円以上ご寄進をされた方は、ご芳名を社務所西側壁面に掲示させて戴きますので、ご参拝の節にご覧戴ければ幸甚に存じます。



御盛相調理の釜

れる。「盛り込み」は素焼きの皿の上に昆布を敷き、五種類の季節の生野菜（大根、人参、茄子、蓮根、芋等）を適宜の大きさに切りのせたもの。また、「御盛相」の左にはやはり素焼きの皿の上に鯛を一尾のせ箸が一膳副えられる。

朱塗りの大三方には「御盛相」、小餅二ヶ、鯛、果物がそれぞれのせられる。

この「供膳祭」は他の一般祭典では献饌（けんせん）に相当し、神様に祭りの主旨を告げる祝詞奏上の前にお供えをする儀式であり、吉備津神社や当社ではその儀式が祭りの中核を担っているのは言うまでもない。こ

のような形態の祭りは県内でも例が少なく全国的にもごく限られた神社に継承されているに過ぎずその意味でも当社の「供膳祭」は貴重な伝統行事と言える。今年は来る十月十七日（土）午前十時から秋季大祭並びに供膳祭を執行致しますので、ご家族お揃いでご参拝下さり、ご覧頂ければ幸甚に存じます。

今日は来る十月十七日（土）午前十時から秋季大祭並びに供膳祭を執行致しますので、ご家族お揃いでご参拝下さり、ご覧頂ければ幸甚に存じます。

神棚のまつり方 その②

【神棚の舗設と注連縄・榊・その他】

神棚を祀る場所が決まりましたら、そこに棚をつります。鴨居などを利用するのが、一番よいでしょう。

棚の中央に宮形をすえ、左右に榊や灯明具を立て正面に注連縄を張ります。宮形は、お正月の近づく頃に立つ歳市や神具店で求められます。いろいろな形のものがありますが、八寸（二十四cm）のお札が入るものを選んで下さい。

注連縄は、普通、稻藁で左ないにしたものをお使います。これは神聖なる場所を示す標示で、四垂あるいは八垂の紙垂（しで）をつけます。

秋季大祭のご案内

来る10月17日（土）午前10時から恒例の秋季大祭（供膳祭）また18日（日）午前9時から神幸祭を執行致します。当社の最も盛大なお祭りですので、ご家族お揃いでお参り下さいまして、大神様のご神徳をお受け下さいますようご案内致します。

紙垂は、自分で作っても構いません。しかし、場合によって略しても構いません。榊は、常に生々と、みずみずしいものでなければなりません。「さかき」は、栄える木との意味で、地方によつては、櫻、松、杉、欅なども用います。常緑樹であることなどが大切なのです。これは、榊立てに入れて供えます。

灯明具は、口ウソク立て、電灯式のものと、種類がたくさんあります。その他、お供えをするための三方・瓶子・皿なども、適宜用意する必要があります。

七五三詣りのご案内

七五三は子供の無事な発育を喜び、その年の子に晴着を着せ氏神さまに詣でる行事である。古来は男女三歳で髪置き七歳で帯解きの祝いを行つたことに由来する。十一月十五日を中心に七五三祈祷を奉仕致します。平日に御祈祷希望の方は都合のよい日を前もつてご予約下さい。

諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により隨時ご奉仕致しております。

- ◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・家内安全・当病平癒その他
- ◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅神祭等
- ご希望の方は前もつてご連絡下さい。

鶴崎神社名譽宮司

廣山泰三氏帰幽

去る七月二十五日に当社名譽宮司廣山泰三氏が帰幽された。廣山氏は昭和三十八年二月から平成十年三月まで三十年の永きにわたり鶴崎神社の宮司としてまた、昭和三十八年には大藏神社・荒神社(帶高)、昭和三十九年には荒神社(船本)、荒神社(無津)、船越神社、龍神社、荒神社(金田)、國鉢神社、平成二年には熊野神社と各社の宮司も併せて勤められ、その一途な人柄から氏子の信望も厚く又、都窪支部内では支部長をも歴任され、指導神職としても活躍された。退任後、廣山氏の功績に報いる為に総代の総意により、五月十五日付けで名誉宮司の称号が授与された。

茲に、氏子の皆様にご報告すると共に、謹んで御靈の安からん事をお祈り申し上げます。

祭事暦

十月十七日(土)「午前十時」

秋季大祭【供膳祭】

十月十八日(日)「午前九時」

神幸祭

十一月十五日(日)「終日」

七五三祈祷

十二月二十日(日)「午後二時」

新穀感謝祭

一月二日(土)「午後二時」

歳旦祭

毎月一日「午前九時」月次祭

※月次祭にお詣りの方は、拝殿にご昇殿下さいまして祭典に参列して下さい。

月の始めに気持ちも新たにご一家の安泰を大神さまにご祈念致しま

